

第1回日野市子ども・子育て会議（議事録）

出席委員 19人中2人出席

欠席委員 小俣委員

原口委員

日 時 平成26年7月30日（水） 18:30～20:30

場 所 市役所5階 505会議室

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）各専門部会報告について

（2）（仮称）新ひのっ子すくすくプランの骨子案について

（3）その他

4 閉会

事務局	1 開会	
事務局	2 資料紹介 会議次第、委員名簿、1. 保育・教育専門部会報告書、2. 地域支援専門部会報告書、3. 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」年度別報告シート、4. （仮称）ひのっ子すくすくプラン骨子案、速報値	
会長	会長あいさつ	
事務局	傍聴者について	
会長	傍聴者に入場していただく。議事に入る。4ヶ月間で2専門部会の会議各2回が開催された。各部会担当者から説明がある。	
事務局	<資料（1）をもとに保育・教育専門部会からの報告>	
会長	ありがとう。何か質問があれば。なければ、次の部会からの説明に移る。	
事務局	<資料（2）をもとに地域支援専門部会からの報告>	
事務局	<資料（3）について変更点について説明>	
会長	ありがとう。ご質問等あれば。	
〇〇委員	〇〇の〇〇です。私は地域支援部会に出席していたが、学童クラブでは今まで保育園のように面積等厳しい条件はなかったが、市の条令で学童の基準が決まる。今回の専門部会では本日の資料にあるように、国の基準に準ずる内容にとどめた。例えば、市HPにどんな条例案で策定されようとしているのかを公開しているが、国の基準以上の内容が地域から出せると良い。具体的な提案・要望を出	

	して欲しい。その要望をHPに掲載し、市の条例案として市議会を通して決定していくことになる。市議会には学童の現状を視察してもらいたい。小学校高学年については、毎年実際のニーズ調査に基づくフレキシブルな対応が欠かせない。小学生向けアンケートを行う等、具体的な施策を出していただけたらありがたい。
会長	具体例はあるのか。専門部会で話をしたのか。
〇〇委員	今回、専門部会では、国の基準に準ずるという話があった。資料末尾に添付されているが、具体的な数字等の記載がない。市によって、実態に応じた変動があるのではないかと懸念もある。高学年育成を考えるのであれば、1.65では足りないとの懸念もある。また5ヶ年計画のこともある。当面の間等、措置の期間があるとしたら、あいまいな表現にせず、具体的な期間や条件を示すべき。明確な表現にしてもらいたい部分がある。前回は資料を見て終わってしまったので、市の条例、今後の5ヶ年計画の中で、検討して欲しい。
会長	今のご意見に対して、担当部署に説明をお願いします。
事務局	より具体的な条令の形を明示してほしいとのことだが、細かい現状は把握していない。基本的に省令で示された基準について、日野市は概ねクリアしている。現状維持しつつ、今後5年間で体制を取っていけたら、と考えている。
会長	という回答をいただいた。今後見直すこともあるでしょうし、条令については相応の対応をしている。他自治体でも細かい状況を把握していない。探せばあるかもしれないが。
〇〇委員	HPで公開しては。
会長	できればHPで公開して欲しいという、委員の意見として承っておく。
〇〇	市では、民間保育園で学童やると毎年言っている。民間の活力を入れ、公立と民間で協力する必要がある。ただ、学童の民託化ではない。民間委託をやりたくて言っているわけではない。民間委託も可能。都内では幼稚園でやっている。幼稚園の卒園児はうちでみるという。今の公立学童を何とかするという考え方も1つ。法律が変わるタイミングで変えて欲しいという案も言って欲しい。保護者の声がないと私たちも動けない。保育園は20時までやっているが、学童はやっていない。子どもの幸せはどこにあるのか。ぜひ学童委員の皆さん、子どもの幸せを進めたいので、よろしくお願ひしたい。
会長	これからどうあるかは、次回の議題になる。また必要性に応じて、保護者は市民として主権者として、意見をおっしゃっていただければ。この領域から外れることもあるので、これでよろしいか。他に何かあれば。それでは、今日の1番の課題だが、子育て課課長、その他で何かあるのか。
事務局	その前に
会長	その前にもう1つ、事務局から資料4をもとに計画の趣旨、骨子案を説明して

	もらう。
事務局	<資料(4)について説明>
会長	これを前提に、議題2の骨子案、第4章について、議事に入りたい。どういう扱いでいくのか。担当者から説明をお願いします。
事務局	第4章基本理念の目標が空欄となっている。事前資料として皆さんの意見を無記名にしてまとめた資料を配布している。思いや意見を交わして欲しい。
会長	ありがとうございます。参考資料1、2が委員の手元に届いていると思う。基本目標、理念と将来像についてご意見を頂戴したい。後ほど意見をまとめる段階で色々出てくると思う。整合性等、判断は難しいところだが、善し悪しや順番、キーワード、理念等について意見をいただきたい。特に意見が出てくる形態は初めてで、宿題になっていた。傍聴者もいるが、国策の中で、厚労省、東京都、日野市と法的な順序でやってきている。日野市が主体ということをご理解いただき、意見を述べ交わして欲しい。私たち委員も参加はするが、委員の権限は非常に限られている。意見は大いに言っていただき、その後、担当部局がまとめて、次会議に提示することになる。
〇〇委員	〇〇の〇〇です。記名されていないが、どの番号が自分であることを明かして良いか。5番だが、保育園の父母連では、執行部、現会長・現副会長、事務局にいる私たち旧会長・旧副会長ともに定例会の前に集まり、皆で話し合った。理念が「育てようみんなの子ども」「作ろうみんなの安心社会」等、どこかの市のスローガンのようになってしまったのだが、将来像を掲げていく中で、1番「親育ち」、子どもの成長とともに親も成長して行く。子どもを産み育てていく中で初めて親になるところから、親になって必要な情報、気づき、学びの機会を提供し、悩まない社会を実現したい。父母連としては、子どもを育てていく中で、同じ保育園の中で他のご両親と意見交換や兄弟のいる保護者に、一人っ子の保護者が相談し、励ましてもらったり。先生と別の立場で気軽に話し合える。父母連の場合は他の保育園の委員会の方々も集まっている。自分の通う保育園の枠を超え、話し合ったり、皆で考えたりする形態で、父母連ニュースや父母連アンケートを発行し、一人で悩まないよう伝えている。2番「子育て」だが、子どもは自ら成長する場所を選べない。保育園も幼稚園も学童も、自ら行きたいと言っている子が果たして何人いるのか。親も時間や経済的都合で預けざるを得ない。子どもを尊重し、自宅で見たいというのもわかるが、実際は難しい。家族や先生、第3の大人、学童の先生や他の地域の方々が子どもの発達段階に応じた成長の場を与え、見守る場を皆で作って行けたら良い。自宅近くを希望しても実際、希望保育園には入れないことも多い。遠方に坂を下りながら通ったり、早朝、自宅を出るのは大変だ。保育園の量も必要ということを考えていくべき。家のそばで入れる保育園も必要だという話をした。3番「地域育て」は地域の特性や経験豊かな人材を活かしていく。私は介護職をしているが、地域の方や地域密着型の必要性を切に

	<p>感じている。地域の高齢者やスクールボランティアが下校時の通学路に立ってくださる。親としても安心でき、もっと広がると良いと思った。4番「次世代育て」は、子どもを育てるのは私たち皆の将来を作ること。子ども=将来。これからの社会を任せられるのは子どもしかいない。そのために子育てに寄り添い、次世代に思いやりと生きる力を与える。これからの将来、子どもに夢がなくてはいけない。財政や年金、負担ばかりでなく、希望を示してあげたい。以上。</p>
会長	<p>ありがとうございます。お母さん方で色々意見出し合っていたいただき、基本的にはすすくプラン後期計画として、26年まで日野市は地域計画を作ってきている。それをベースに、こういう意見が出てきている。順番が色々違っているところもあるが。</p>
〇〇委員	<p>そこで繋がっているのが、小学校。</p>
〇〇委員	<p>ありがとうございます。</p>
〇〇委員	<p>「協働」という言葉で書かせてもらった。ナンバー6になる。「みんなで」とおっしゃったように、それを「協働」という言葉で表した。同じ保育園だった親御さんはとても仲が良く、助かっている。担任でうまくいかないところはお父さんお母さんが知っているからと、相談に乗ってくれ、話が早く進む。その力をお借りしながら、子どもたちが、次世代、日本、世界を背負っていく。自信を持って卒業させたい。中学校は。</p>
会長	<p>中学校の校長先生はおられない。小学校で。</p>
〇〇委員	<p>繋がっておるわけですよ。</p>
〇〇委員	<p>「親育ち」というのは皆さん書いていらっしゃる。悩み。本当に必要だと痛切に感じている。子育てには悩みはつきものだ。一緒に考えてくれる人や場所が必要。1つではなく、色々な場所であった方がいいのではないかな。しかし、主体はあくまでも親であることも残しておかなければならない。話を聞いて寄り添い、相談に乗ることは必要だが、あくまでも子育てをする主体は親であること、親の楽しさとか残しておかないといけない。</p> <p>また、地域で育てるといえるのは必要だなと思っている。地域の中で活躍できる場所が少ない。立場を超え、誰かのために活動する楽しさ、そういう場所が大切。「次世代育て」で、地域の人たちとの関わりを大切にしないといけない。「思いやり」と「前向きに」「生きる力を大切に」は必要。</p>
会長	<p>時間の都合もあるので、順番に関わらず、ご意見いただければ。いかがか。</p>
〇〇委員	<p>「子育て」や「親育ち」が重要でないというわけではなく、地域の立場から「次世代育て」と「地域育て」を前面に出させてもらった。子ども期に楽しく育っていくということは何より重要だが、私たち地域の人間から見た、次世代の人材、子どもたちについて述べる。どうしても未就学児や小学生等、小さな子どもたち</p>

	<p>に目が行きがちだが、中学校過ぎてから子育てに悩んでいる人も、悩んでいる子どももたくさんいると思う。私たち地域の人間にとって、地域の人たちに主体的に関わってもらうことが非常に大きい。私自身、10年前に夏祭りを立ち上げたが、もともと子ども会で主催したものだが、今は地域のお祭りになっている。子どもがただ夏祭りに参加するというのではなく、子ども自身が祭りを作り、主体的に自分の役割を見つけていく。地域の中で繋がりを作っていく。卒業して就職しても、地域に関わっていく。また、私たち自身にとっても難しいことだが、「子育て」について、「自己肯定観」が今の子どもたちにないのではないかと。深く関わっていくにつれ、社会の中で役割を持つことによって、変わっていく。11番でも書かれているが、悩んでいる方、非常に多いと思う。子どもが自己肯定し、自分の権利を認識することが非常に大切。どうしても親に振り回されがちだが、(私も子どもが小さい時にかなり振り回してしまったが) 子どもが自分自身で考え「自分のことは自分で決定する」ことを認識し、親がそれを認めることが非常に必要。「子育て」のことは親の面からだけでなく、子どもの権利の面からも、書いたら良い。</p>
会長	<p>ありがとう。「子ども子育て支援法」が幼稚園・保育園・認定保育園と保育の方から来ている。当然、市と学校教育との関連、地域との問題等、今話していた内容全てが法律上、「子ども子育て」の範疇の内容になっている。「日野市すくすくプラン」全てに関わっていくこと、市の担当者も同席しているので、ぜひご意見いただきたい。いかがか。一人ずつ感想でも何でも構わないので、発言して欲しい。</p>
〇〇委員	<p>最終的に決めることではないが、第4章基本目標、将来像の部分だが、どれが重要だから1番と言う訳ではないが、この形式で書かなければいけないのであれば、ここで今日決めても良いのではないかと。11人の意見で、順番がバラバラだが、1番多いのは「親育ち」「子育て」「地域育て」「次世代育て」。最初、子育て課から提示された例がこの順番だったからかもしれないが。ちなみに私は「親育ち」「子育て」「地域育て」「次世代育て」の順で考えている。</p>
会長	<p>私も順番については議論になるかと思っていた。モデルは4章に出ているが、それはまとめ方の違い。後期計画との関連もあるが、「子育て支援法」等、全て関係してきている。ご意見いただけないか。</p>
〇〇委員	<p>私は後期計画の策定に関わっている。「みんなで子どもを育て、子どもと育ち、繋がる地域と繋がる心」という部分をかなりダイナミックに前期から変えていくという経験をしている。「親育ち」「子育て」「次世代」という順番にし、当時は素晴らしいと思ったが、今、5年経って考えてみると、もう少し子ども主体に考えた方が良かったのではないかと、思い始めている。今、子どもたちに色々手が入って、支援して育てていくという機運が高まっているが、「子ども自身がどうか」ということと、「有効なのか」という点から、「子ども自身が自分で育つ」ような、</p>

	<p>子どもの主体性を前面に出す方が良いのではないか。もし順番をつけるとしたら、8番「子どもの権利を尊重する環境づくり」で、子どもの主体性を育ていけるようにしたい。数としては「子育て」が5点で少ないが、子どもの主体性や子どもの権利を尊重する、計画策定であって欲しい。</p>
会長	<p>ありがとう。そういった意見があり、難しい問題でもあるが。数の問題もあり、理念との関連もある。いかがか。ご意見あれば、ぜひ願います。</p>
〇〇委員	<p>5章の基本目標1・2・3・4は4章の1・2・3・4と関係あるのか。</p>
事務局	<p>あります。子育て課長から説明させていただいたが、5章については前期プラン後期プランの部分を参考に、仮置きをさせていただいた。これが決まってくれば、施策展開となる。</p>
〇〇委員	<p>基本目標の1・2・3・4・5というのは、日野市がこれから行う事業のメインの話という理解でいいのかな。</p>
会長	<p>結構です。</p>
〇〇委員	<p>それで事業に合うような言葉を考えてちょうだいという話。子ども会とか育成会はどこが自分の縄張りかと考えると（〇〇さんが俺をにらんでいるが）、私たちが決めるのよと、私たちはバラ色の子育てという表題を出すのか、中学生が児童館でこういう活動している、子ども会や育成会でこういうことがやりたい等、もう少し近所で相談なさったら良い。青少年委員はそういったことが入ってくる。俺は保育園だから保育園しか言えない。それぞれの委員が選ばれた基準があるので、もう少し、各自の立ち位置からの意見を整理してもらえれば。全部聞かれてもわからないが、そこなら言えるという部分がある。</p>
会長	<p>自分の身近なところから入ってくる。それが行政の仕事であり。それでいいのだ。ご自身の関わっている領域から意見を言って欲しい。その上までできればいただきたいが。いかがか。1期を日野市がやってきて、それに対してご意見があり、これから後期どう続けるか。同時に、本質、趣旨、目的等々はベースに則っていかなければいけない。大まかな理念や目標がある中でまとめていけばいいと思っている。行政の方や傍聴の方もいる。ご自身の活躍されている場、立ち位置の中で、ぜひ発言して欲しい。</p>
〇〇委員	<p>私もつなぎの役割で言わせてもらう。立ち位置と離れた所からも話す。委員のみなさんからご意見いただき、書面として出していただき、読ませていただいた。基本的には今のすくすくプランを踏襲した形でとらせていただいた。それぞれご意見等伺い、大きくは変える必要なく、ドラスティックに変わる状況でもない。平成17年、出生率が低かった時期に策定した現在のすくすくプラン。出生率は少しずつ上向いてはいるが、大きくは変わっていない。子育てや課題等、変わっていないという意味で、大きく変える必要はないと感じる。子どもの自己肯定観という話があったが、私も大事だと思う。「自分のことが好き」「自分は愛されてい</p>

	<p>る」という設問があり、出ている数字に注目している。5年前10年前にも同じ質問しており、数字は少しずつ改善している。いじめに関する設問もあるが、同様に改善している。学校や育成会、地域が懸命に取り組み、反映された結果だ。次回会議には経年変化の資料を配りたい。自己肯定観は一人で育まれるものではなく、先生や友人らとの接触の中で跳ね返ってくるもの。子どもは一人では育たない。親や地域の役割大きい。最近、厚木で男の子が亡くなっている事件があった。孤立した父子家庭の中で虐待、ネグレクトがあった。親だけではなく、周囲で気づきがあり、アプローチがあれば良かった。今日の会議目的の重要なところは理念。計画の一番大事なところだ。ぜひ皆さん一言ずつ、意見をお聞かせいただきたい。</p>
会長	<p>ありがとう。いかがか。そういうことを踏まえて。</p>
〇〇委員	<p>授業を観察に行くと、子どもの発想力に驚かされる。特に低学年の子どもの発想力は非常に豊か。高学年になると、分別がつき、自我意識が芽生えてくる。年金や借金等、将来への不安を抱えて育つのではなく、豊かな発想力を活かし、育んで欲しい。授業見て「自己肯定」の大切さを感じた。先生方が子どもたちの発言を否定しないよう、授業を行っていた。</p>
会長	<p>ありがとう。他にいかがか。</p>
〇〇委員	<p>今の子どもたちは非常に情報を持っている。ワールドカップで活躍中のメッシ選手の動きを目で追える。動きを真似できる。学びが学校の先生の教え方だけじゃないことを良く知っている。だから先生方に対し、文句も言う。だから、おもしろい。</p>
〇〇委員	<p>日野市のサッカー連盟の会長です。小学校の先生はあてになりません。少年サッカーのコーチらには、コーチの資格を取らせ、きちんとした研修を受けさせ、本格的に育成している。ばかやろう方式はやりません。</p>
会長	<p>中学校の授業も含め、孤立や家庭等の問題もある中、自分自身を見失い、犯罪に走ってしまう。今の時代、家族形態は様々。親だけでは子育てはできない。初めて親になって、子育て中、ひとりで孤立し、虐待をしてしまう。子を育てることで親になる。学校も色々がんばっていると思うが、教育機関であるため、学校以外での子育てまではできない。昔は、地域のおじさんおばさんが注意するのが当たり前だった。次の世代が心配。親と地域がどう統合していくか。優先順位で順番は付けなくても良いのではないか。</p>
〇〇委員	<p>今春、息子が中学1年生になり、バスケ部に入った。学校では、ディフェンスとかきちんと教えてくれない。私がバスケ経験者で、自宅で教えるが、うまく教えられない。話を聞くと、最寄りの「みなみだいら児童館」で友人と一緒に、知らない中学生のお兄さんと仲良くなり、教えてもらっているという。自分たちで場所を見つけ、自分たちで先生を見つけていた。「今日、フロントターンを教えてもらった」と嬉しそうに報告してくれる。誰が教えた訳でもないのに、子ども</p>

	<p>たちは部活や学校以外で、場所を見つけ、先生を見つけ、学んでいる。素晴らしい。日野市では、放課後、学校を開放しておらず、ボールを持っていくところとか限られている。近隣の公園は、小さい子が砂遊びをしており、体の大きい小学校高学年や中学生らは親御さんから怪訝な顔をされてしまう。小さい子だけでなく、大きな子どもたちが異年齢で遊べる場所や関われる場所が地域にもう少しあると良い。大人が提供するのではなく、子どもたち自身で探せるように。そして探せる子どもたちであって欲しい。</p>
会長	<p>子どもの育ちや成長、自ら学ぶ事例がたくさん出た。それらをどうサポートするか。親が孤立したり、家庭に問題があったり、母親が子育てできなかつたり。親が交通事故で死なないと対応しないのでは困る。いじめが激しくなってから、やっと対応するではいけない。昔からいじめはあった。子どもの権利、人権を擁護できる地域でなければ。子どもが自ら命を立つような地域社会ではいけない。教育学を教えながらずっと考えていた。私たちの国は人権意識が非常に希薄なのではないか。人権についてきちんと教えてきていないし、親自身が人の権利を認めなければいけないし、自分がいじめられないためには人を大切にしなければいけない。大事にされた人は、人をいじめない。家庭、地域、学校でそういう育ちができるようになれば、日野市で生まれ育って良かったと思ってもらえるようになって欲しい。理念も含め、次回、内容を詰めていけたら。時間がまだある。何か言っておきたいことがあれば、いかがか。</p>
〇〇委員	<p>〇〇さんの児童館に、もと児童館の館長があそこに。「あさひがおか児童館」館長がおりますので。</p>
〇〇委員	<p>その下で働いておりました。</p>
〇〇委員	<p>ふれあい館と児童館もバスケットできたり。児童館が一生懸命やっているのは評価に値するが、なぜ公園で野球とサッカーやってはいけないのか。</p>
事務局	<p>いや、構いませんよ。</p>
〇〇委員	<p>三角ベースで野球とか集まってやっていた。他が空き地でやってるのに、なぜ公園でやってはいけないのか。すくすくプランに入れて欲しい。子どもの遊び場をつくらうという。</p>
〇〇委員	<p>居場所は本当に必要だと思います。</p>
〇〇委員	<p>〇〇委員の意見は、良い意見だと思う。</p>
〇〇委員	<p>私は七小卒だが、子どもの頃は、学校が終わると家に鞆を置いて、また学校に戻って、校庭で遊んだ。今は「ひのっち」や学童を使う子どもたちがいて、高学年以上の子がいると、職員室から「大きい子は帰りなさい」という校内放送が入る。子どもたちの行き場所、遊び場がない。親の立場では、道路等でのボール遊</p>

	びやめて欲しい。安全なところでのびのびと遊び、帰宅したらご飯を食べて寝るだけの状態が理想だ。
〇〇委員	かっこいい文章でなくて良い。文章を考える人は後ろに控えている。子どもが実際に困っているかを次に考えてきてもらいたい。それぞれ立場が違くと気づかない。なぜ公園で野球をやってはいけないか、理由がわからなかった。帰宅後サッカーをやる場所がないのだとか。良く考えたら、自分たちは公園で三角ベースをやっていた。息子がバスケやって良かった、そんな発想で良い。せっかく会議に来ているのだから、黙って帰らずに何か話して欲しい。
会長	子どもが学び育つ中、現状やこうあって欲しい等の意見をベースに考えて行ければ良い。次回また話し合いたい。人、空間・場所、地域と関連する問題等。場がないといけない。
〇〇委員	一言いいか。校長先生がブラジルの話をしたが。
〇〇委員	アルゼンチン。
〇〇委員	アルゼンチン。日本がなぜ負けたのか。ストリートサッカーができなくなったから。子どもが皆どこかのクラブに所属している。ブラジルはストリートサッカーから這い上がり、億万長者を目指してサッカーをやっている。三角ベースから巨人の王や長島になるっていうような子がなくなった。それを子育てでの問題。過去へ戻れとは言わないが、男性にはない発想で、女性に新しい子育ての場を考えて欲しい。
〇〇委員	「昔は良かった」というのが、今残ってないのが現状。父母連でも議論されるが、学校で誰かが遊んでくれたり、近所の人が面倒を見てくれたりした記憶が残っている。親になった今、それらがなくなっていた。理由がわからず、気づいたらなくなっていた。
会長	今日、問題が起こった時の責任に対して、大変なバッシングが出てくる。学校や公的機関等、ルールが細くなり、コントロールされるようになってきた。その中でもできることはある。そういう場を作り出さなければいけない。
〇〇委員	取りあげるよりは、できる限り残すか、作って欲しい。
会長	なくす必要があればそれで良いのだが、代替するものを考えなければいけない。公的立場の方は無責任なことできない。昔のように保護者は余計なこと言わない。今は違う時代だという部分も認識しなければいけない。悪いことをすれば怒られるが、地域におおらかさがあり、子どもたちは色々なことができた。50年以上経ち、交通手段が発達し、社会が管理しやすくなり、人、場所、経費等取り巻く環境や問題も変わってきた。七小でも土日、父兄が子どもを集めて野球をやっている。子どもたちが勝手にやるのと草野球とは違う。中学生期に、大人の

	目の見えるところで遊べるような環境を作らないと、非行のほうへ走っていく。
〇〇委員	おっしゃる通りだが、男の子がいる家庭は必ず、サッカーか野球のチームに属していると言われる。チームに属するためには保護者の当番が決まっており、毎週土日に付き添わなければいけない。共働きだと付き添いの負担が大きく、また、ユニフォームや道具を買いそろえるのにお金がかかる。昔は、小さな子から中学生まで一緒に河原や空き地で草野球をし、小さな子に合わせて柔軟にルールを変えたり、仲間外れを作らないように遊ぶ工夫をしていた。今、一生懸命サポートしている保護者の方を批判するわけではないが、子ども主体ではなく、親の管理下に置かれてしまっているのが残念だ。また、ユニフォーム等を買そろえることができない家庭もある。子どもの6人に1人が貧困状態にある。最新の数字が16.3%。子どもたちが野球をやりたくても、ユニフォームを作るお金がないと、チームに入ることができない。根本的なところから見直さないといけない。孤立から色々な問題が出てきている。子どもの権利はとても大切な問題で、貧困から子どもを守るといふ問題と、親の管理下に置かれずに子どもが親の顔色を気にすることなく育つことも大切。子どものために良かれと思って、どうしても過保護になりがちだが、大人の論理ではなく、子ども自身で遊べることも大きな意味がある。主体性や権利も含め、それらをうまくまとめられれば、計画も形になるのではないか。
〇〇委員	前期と後期プランで、何人かの意見や考え方もあって、変わってくるのは当然のこと。その中でも変わらないものを見据え、次の計画を作るべきだ。その際に、言葉を使用するかは別にして、子どもの権利を中心に周辺のことを考えていけたら良い。
会長	ありがとう。
〇〇委員	時間ないけど一言だけ良いか。サッカーの保護者の負担が大変だっていうのは古い体質の小学校です。基本的には
〇〇委員	小学校ではなくて、いろんなチームがある。小学校ではなくて地域の。
〇〇委員	基本的にはやる気のある父兄が来て、手伝う仕組みに変わってきている。昔は協力できない親の子どもは入れないというチームがあった。今は、基本的にはそれはない。私の見ていないところであれば、申し訳ないが。小学校サッカー会長ではないので、日野で白いボールを蹴飛ばしている全部少年サッカー200チーム4000人の会長だ。少年部は別にあるが、まだそんなことやっていたら、少年部長締めあげる。
会長	そうしてください。いただいた意見を勘案し、次回この問題を決めていきたい。できるだけまとまるような形で、お考えいただきたい。またご意見もあれば出していただく。本日は終了となるが、その他事務局側で何かあれば、次回会議開催について。

事務局	本日専門部会の議事録要旨を配布しているので、目を通していただき、修正等あれば8月20日までに事務局へ提出して欲しい。次回会議日程だが、9月30日(火)18時30分～でいかがか。
会長	2ヶ月後、ご都合つかない方も出てくるかもしれないが、どうか。今回もそうだが、夕方～夜の開催が比較的集まりやすい。よろしいか。次回9月30日(火)18時30分、場所はここになる。議題は追って連絡がある。今日は最初にその問題が入ってきたが。時間が1分超過したが、閉会とさせていただきます。よろしいか。ありがとう。